



現在の風景

長瀬地内より埼玉医大方面を望む 昭和43年2月（森治彦さん提供）

長瀬地内に広がる畑から埼玉医大方面を写した写真です。写真右側に写っている鬮^{ひな}ぎの家が建て替えられていたり、埼玉医科大学病院が拡張されたりと当時と現在とは風景も変わっていますが、一番大きく変わったところといえば、景色のちょうど真ん中を県道が横切ようになったことではないでしょうか。

お知らせ

昭和60年代ごろまでの昔の写真を募集しています。ご提供いただける方は、役場秘書広報課広報広聴係 ☎(295)2112 内線 332 までご連絡ください。

徒然歳時記

巳



あと10日余りで年が変わります。平成25年の干支は巳。一般的にへび年ともいわれます。へびといえ、そのニョロっとした外見や毒をもっている種類もいるため、多くの人に、あまり好かれていない生き物ではないでしょうか。ギリシャ神話などでも見た人を石に変えてしまうメドゥーサという怪物の髪の毛はへびでした。日本の神話でもヤマタノオロチ（八岐大蛇）という八つの頭をもったへびが登場しますが、若い娘を食べてしまうことで退治されました。

一方、へびは古来より神格化されたり、信仰の対象にもなっています。へびは豊穰や生命力の象徴として、また神の使いとしても崇められてきました。世界保健機関（WHO）は、へびを生命力の象徴とするギリシャ神話を由来としてへびと杖をそのマークに使っています。また、日本でも言い伝えとして、脱皮したへびの皮を財布の中に入れておくとお金が溜まるといわれました。また、へびを神様として奉っている地域もあります。

「蛇の道はへび」、「藪をつついて蛇を出す」、「蛇にいらまれた蛙」など、ことわざや故事にもよく使われているへびは、良くも悪くも昔から私たちの生活に溶け込んでいる生き物とも言えるのではないのでしょうか。ただし、日本にもハブに代表される毒のある種類が多く生息しているのも事実。蛇足ではありますが、迂闊に触らないように気をつけましょう。

編集後記 取材などで町内に出ることが多い時期でしたが、季節の移り変わりを身をもって体験できる時期でもありました。しかしながら、今年の秋は、あっという間に寒くなってしまい、少し短く感じたのは私だけでしょうか…。(1)

わがやのアイドル



加藤 結菜ちゃん
(4歳11か月)

オシャレが大好きな女の子。日に2～3回、着替える事もあり、かわいい洋服には目がない。これから先が、どうなることやら…。



宇田万結圭ちゃん
(2歳5か月)

歌とダンスが大好き！ときどき、仕草も口癖もママそっくりの小さなママに変身してお手伝いもしてくれる、お話が得意な女の子。家族を笑顔で元気にしてくれています。

■秘書広報課では「わがやのアイドル」を募集中です。
申・問 役場秘書広報課 ☎(295)2112 内線 332

人口 35,885人 (-2人)
【男 17,888人 (+6人) 女 17,997人 (-8人)】
世帯 15,638戸 (+3戸)
※平成24年12月1日現在(カッコ)内は前月比